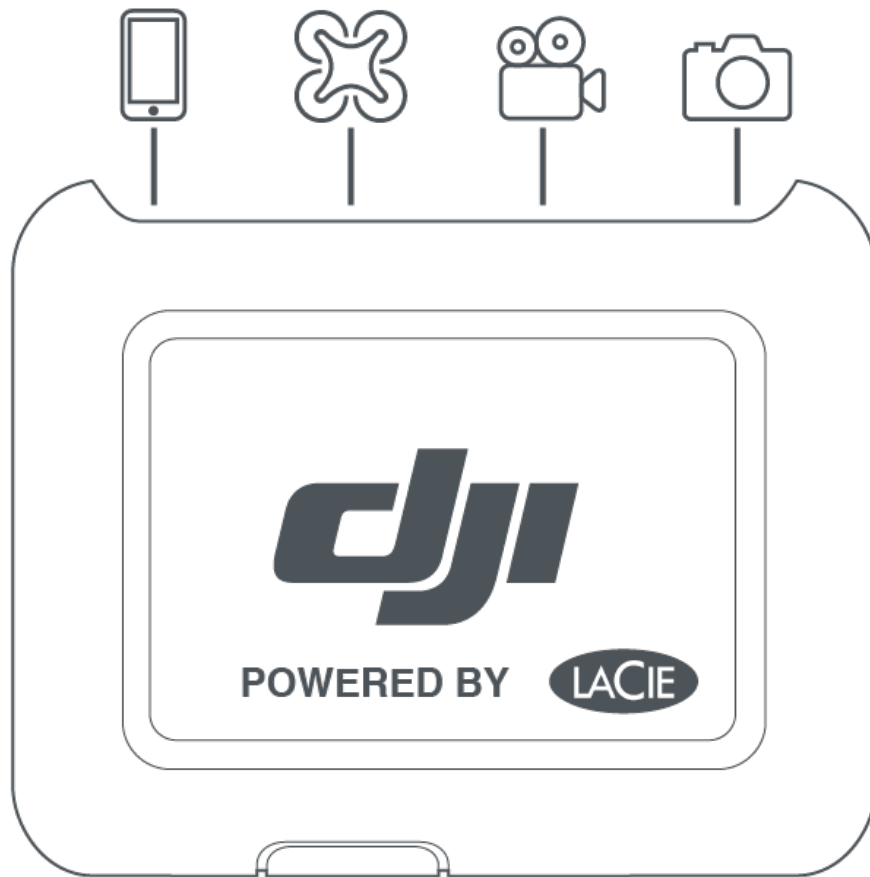




DJI Copilot ユーザー マニュアル



このドキュメントの最新オンライン版にアクセスするには
ここをクリックしてください。最新のコンテンツ、拡大可能な図解、分かりやすいナビゲーション、検索機能もあります。

Contents

1 概要	5
ポート	6
LCD ガイド	6
仕様	18
• 筐体の寸法	18
• 筐体の重量	18
• 電気仕様	18
• 温度範囲	19
• デバイスの温度が上昇する場合	19
• 温度の警告の画面が表示された場合	19
2 セットアップ	21
ステップ 1: Copilot BOSS アプリをインストールする	21
ステップ 2: 電源ケーブルを準備して接続する	21
ステップ 3: モバイル デバイスを DJI Copilot に接続する	22
ステップ 4: モバイル デバイスを検出して Copilot BOSS を起動する	23
セットアップが完了	24
• CopilotBOSS によるファイルのコピーや移動	24
• PC/Mac との接続	25
• アクション ボタンによる簡単コピー	25
3 アクション ボタンによるスキャン	27
一度目に押したとき	27
二度目に押したとき (一度目に押してから 10 秒以内)	27
4 簡単コピー	29
コピー	29
• 簡単コピーのキャンセル	32
ポートを簡単コピーのキューに追加	32
簡単コピーのデータ命名規則	32
5 増分コピーの実行	34
増分の設定	34
増分コピーとフル コピー	34
バックアップ フォルダの削除と増分コピー	34
6 DJI Copilot のクローニング	36
クローンの設定	36
クローニング	36

クローニングの規則	36
クローンの実行	36
クローン ドライブの指定	37
クローン ドライブの指定の解除	37
クローン ドライブのディレクトリ	37
7 接続	38
モバイル デバイスのポート	38
セキュア デジタル (SD) カード ポート	38
USB TypeA ポート	39
• USB Type A の接続についての重要なお知らせ	40
• ドローン、デジタル一眼レフカメラ、自動露出カメラ、ビデオ デバイス	40
• iPhone、iPad、Android 携帯電話やタブレット	40
• USB ハブ	40
• コンピュータ - 非推奨	40
USB-Cポート	40
• USB-C の接続についての重要なお知らせ	41
• CopilotBOSS アプリと USB-C 接続	41
• コンピュータからの取り外し後のリフレッシュ	41
• DJI Copilot のハード ドライブのフォーマット	42
• DJI Copilot の内蔵ドライブのパーティション分割	42
• ハブ - SD カードと USB Type A ポート	42
• USB-C でのモバイル デバイスの接続	42
• 簡単コピーや CopilotBOSS アプリの操作中の PC や Mac との接続	43
DJI Copilot の充電	43
• 電源装置	43
• USB-C 接続	43
DJI Copilot からのモバイル デバイスの充電	43
• モバイル ポート	44
• USB Type A ポート	44
• 低速充電	44
DJI Copilot からの互換デバイスの充電	44
8 システム イベント	45
節電モード	45
• 手動による DJI Copilot の起動	45
• 手動による節電モードの開始	46
操作の実行中	46
9 検出されないモバイル デバイス、SD カード、USB デバイスに対する手動操作	47
モバイル デバイスを手動で検出	47
簡単コピーのために手動で USB デバイスを検出	47
10 Copilot BOSS アプリ	49

メニューとオプション	49
デバイスの選択	51
フォルダやファイルの表示	52
• 表示オプション	52
フォルダやファイルの選択	53
フォルダやファイルのコピー	53
フォルダやファイルの移動	53
ファイルの共有	54
ファイルの削除	54
情報の表示	54
フォルダやファイルの名前の変更	55
画像の回転	55
ファイルを開く	55
モバイル デバイスを使用して簡単コピーを確定	56
Copilot BOSS の設定の表示	56

11 DJI Copilot の再起動

58

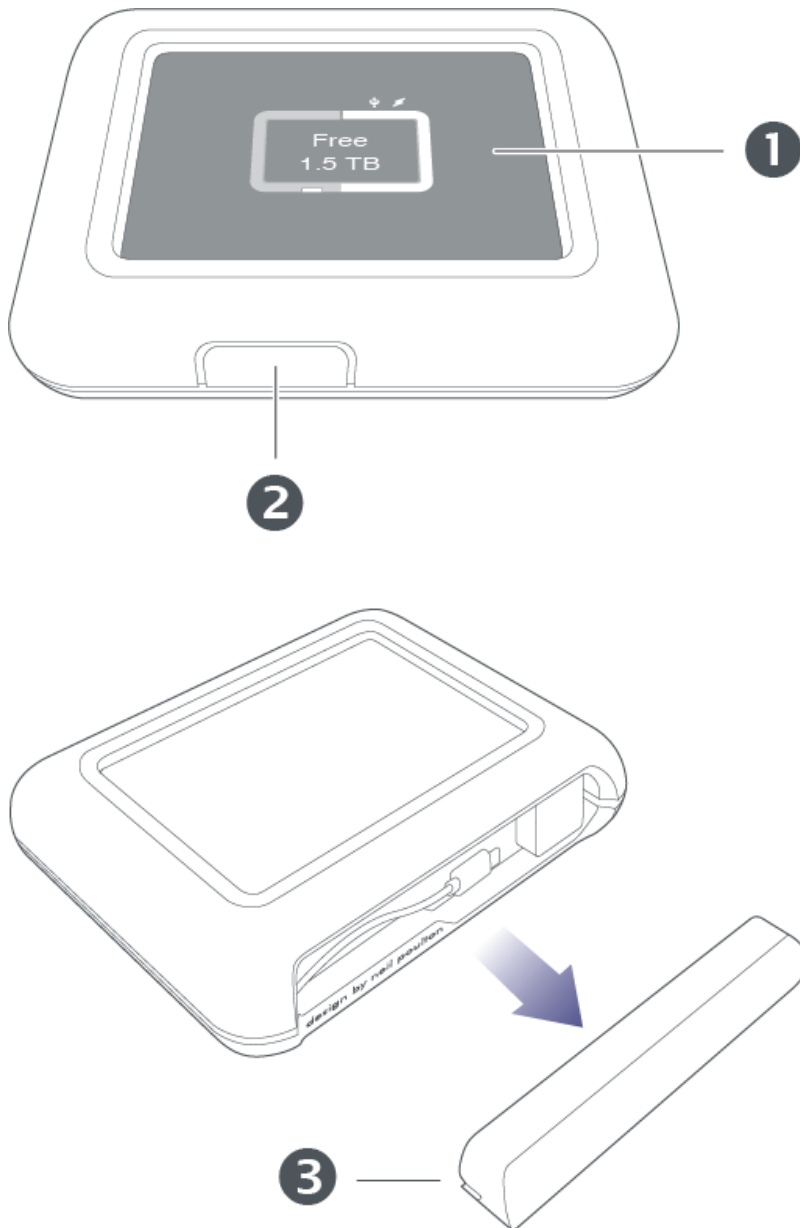
12 安全に関するガイドライン

59

電源	59
バッテリーに関する安全上の注意	59

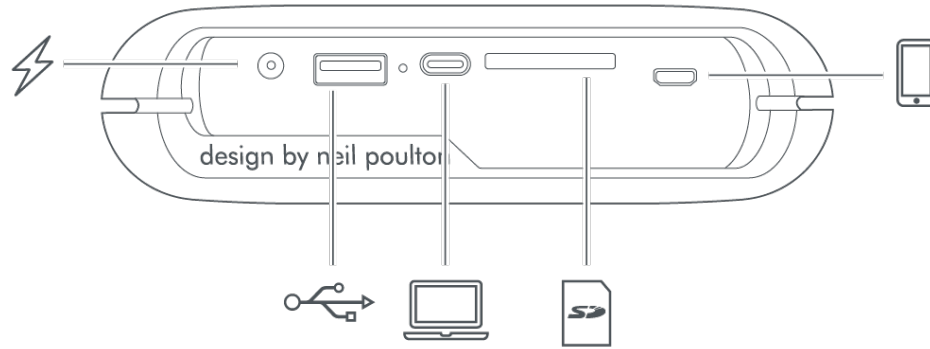
概要

DJI Copilot では、ドローン、カメラ、電話、その他のデバイスからファイルを直接転送できます。ノートパソコンは必要ありません。LaCie の Copilot BOSS アプリ (Android および iOS) を使用してコンテンツの表示や整理が可能です。



1. LCD
2. アクション ボタン
3. 取り外し可能なポート カバー

ポート



DJI Copilot を充電します。デバイスに同梱されている電源装置のみを使用してください。



USB Type A ポートでさまざまなデバイスを DJI Copilot に接続できます。アクション ボタンを押すとすべてのファイルが転送されます (簡単コピー)。または、Copilot BOSS アプリを使用してファイルを管理します。



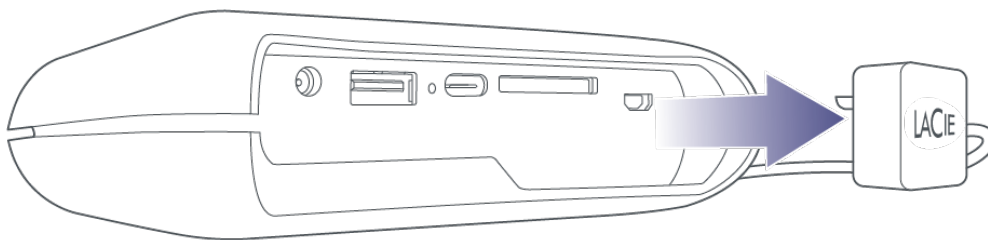
USB-C ポートでは DJI Copilot を Windows や macOS コンピュータに接続します。



セキュア デジタル (SD) カード、またはアダプタを使用して micro SD カードを挿入します。アクション ボタンを押すとすべてのファイルが転送されます (簡単コピー)。または、Copilot BOSS アプリを使用してファイルを管理します。

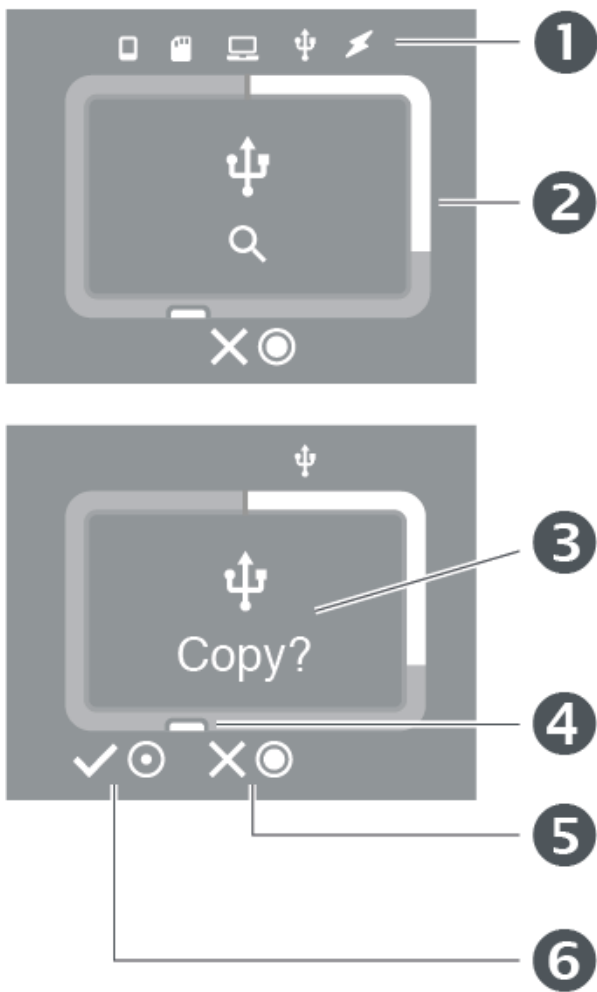


3 種類のカスタム ケーブルのいずれかを使用してモバイル デバイスを DJI Copilot と接続し、Copilot BOSS アプリを使用してファイルを管理します。必ず DJI Copilot に同梱されているカスタム ケーブルを使用してください。



LCD ガイド

LCD には情報とプロンプトが表示されます。



1. 接続
2. ストレージメーター (白 = 使用済みのストレージ)
3. プロンプトと情報
4. アクションボタン (アクションとステータス)
5. キャンセルは、アクションボタンを 3 秒間押し続けます (長押し)
6. 確定は、アクションボタンを 1 秒間押します (短押し)

LCD はタッチセンサー式ではありません。LCD でアクションを開始したりプロンプトに回答したりすることはできません。必ず、アクションボタンを使用して確定またはキャンセルしてください。

接続



モバイル デバイスが接続されています。



SD カードが挿入されています。



コンピュータが接続されています。



USB デバイスが接続されています。



電源に接続されています。

アクション



確定は、アクション ボタンを 1 秒間押します (短押し)。



キャンセルは、アクション ボタンを 3 秒間押し続けます (長押し)。

ストレージ メーター



使用済みストレージ (白) / 未使用 (グレー)。



ストレージの残容量が最少 (オレンジ) / ストレージの全容量に到達 (赤)。

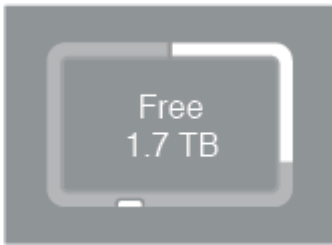


コピーのリクエストに対して DJI Copilot の空き容量が不足しています。

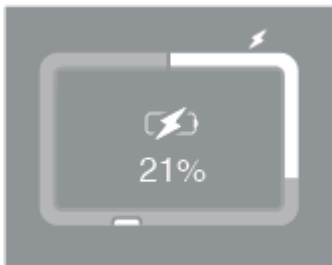
アクション ボタンを短押しすると、確定して続行されます。



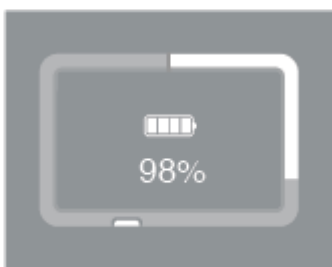
プロンプトと情報。



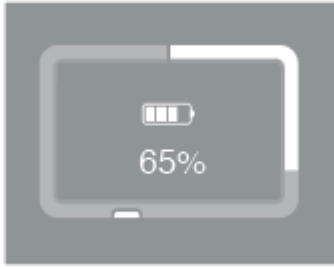
DJI Copilot の利用可能なストレージ。



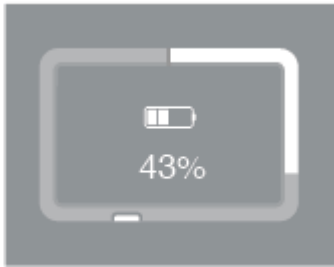
バッテリー充電中。



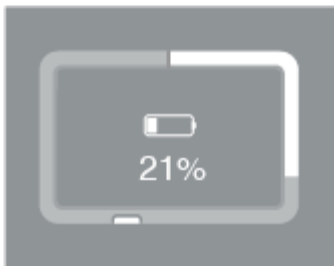
バーが4つの場合は76% 以上のバッテリー残量です。



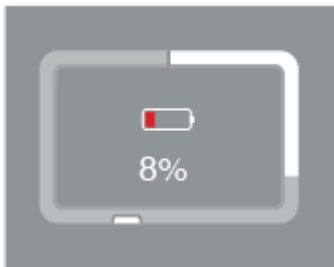
バーが3つの場合は51～75%のバッテリー残量です。



バーが2つの場合は26～50%のバッテリー残量です。



バーが1つの場合は11～25%のバッテリー残量です。



バーが赤い場合は10%未満のバッテリー残量です。



このままお待ちください – 操作の実行中か、システムが低電力モードから復帰中です。



SD カードや USB 接続のデバイスからファイルをコピーするプロンプト。

確定するにはアクション ボタンを短押しし、キャンセルするには長押しします。

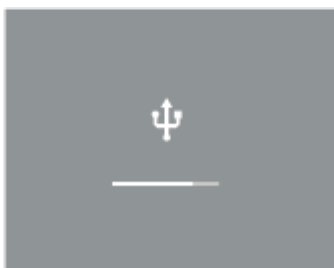


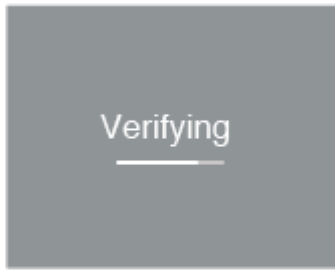
SD カードまたは USB 接続のデバイスをスキャン中です。

キャンセルするにはアクション ボタンを長押しします。

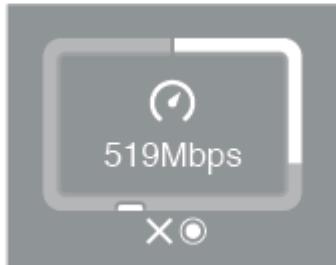


SD カードまたは USB 接続のデバイスからのコピーの進行状況。



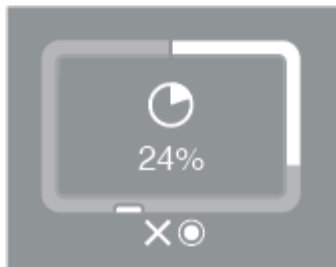


コピー後のファイルやフォルダの検証の進行状況。



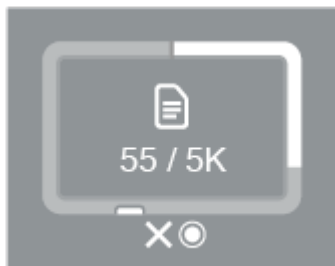
コピーの転送速度。

実行中のコピーをキャンセルするにはアクション ボタンを長押しします。



コピーの完了率。

実行中のコピーをキャンセルするにはアクション ボタンを長押しします。



コピーされたデータの量。

実行中のコピーをキャンセルするにはアクション ボタンを長押しします。



SD カードまたは USB 接続のデバイスからのコピーが完了しました。

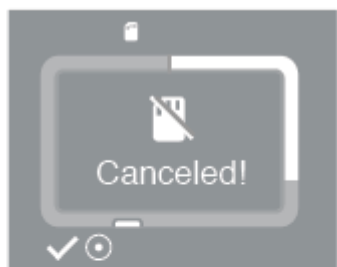
メッセージを確定するにはアクション ボタンを短押しします。



コピーをキャンセルすることに同意を求めるプロンプト。

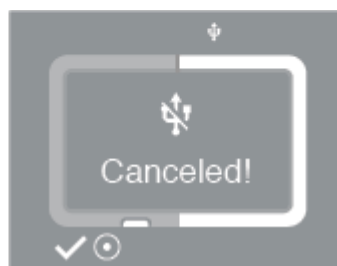
コピーをキャンセルして続行するにはアクション ボタンを短押しします。

キャンセルしない場合は、タイマー バーが無効になるまで待つと、DJI Copilot でコピーが再開されます。



SD カードまたは USB 接続のデバイスからのコピーがキャンセルされました。

メッセージを確定するにはアクション ボタンを短押しします。





読み込んでいます。



DJI Copilot は節電モードに移行中です。



SD カードと USB デバイスが同時に接続されている場合のコピーのプロンプト。

ハイライト表示されているポートをコピー待ちに追加することを確定するには、アクション ボタンを短押しします。



ハイライト表示されているポートをコピー待ちに追加しない場合は、アクション ボタンを長押しします。



DJI Copilot でストレージ容量をリフレッシュする必要があります。リセット後や、DJI Copilot がコンピュータから取り外された後に要求されます。

メッセージを確定してリフレッシュするにはアクション ボタンを短押しします。



DJI Copilot を起動させるプロンプトが表示されます。このプロンプトを表示させるには、DJI Copilot が節電モードのときに短押してから長押しします。

このプロンプトで、確定するにはアクション ボタンを短押しし、キャンセルするには長押しします。



DJI Copilot を節電モードにするプロンプトが表示されます。アクション ボタンを長押しすると表示されます。

このプロンプトで、確定するにはアクション ボタンを短押しし、キャンセルするには長押しします。



内蔵の時計を Copilot BOSS アプリから更新する必要があります。モバイル デバイスを接続すると Copilot BOSS が自動的に起動します。



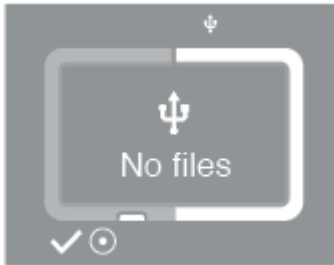
システムは、更新中またはインストール パッケージの処理中です。



システムを工場出荷時のデフォルトにリセットしています。

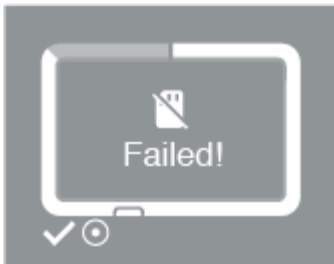


コピーする SD カードまたは USB 接続のデバイスがありません。



外付けドライブを読み取れません。ドライブのフォーマットが不明であるか、ドライブがフォーマットされていません。

メッセージを確定するにはアクション ボタンを短押しします。



SD カードまたは USB デバイスからのコピーが中断されました。次の状態であることが考えられます:

- SD カードまたはケーブルが取り外されました。



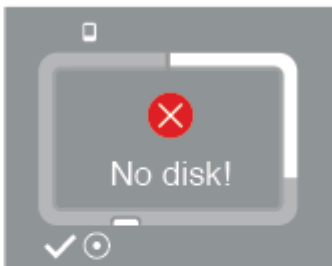


DJI Copilot がデバイスにアクセスできません。次の状態であることが考えられます:

- 接続されたカメラ、ドローン、その他のデバイスの電源が入っていないか、節電モードになっています。
- モバイル デバイスで、DJI Copilot がファイルにアクセスできる権限が必要です。Android の場合は USB デバイスが充電ではなくデータ用に設定されていることを確認してください。iOS の場合はプロンプトが表示されたときに確定する必要があります。

接続されているデバイスの問題を解決してから、短押しで接続を再試行します。

キャンセルするには長押しします。



DJI Copilot の内蔵ドライブが見つかりません。次の状態であることが考えられます:

- 内蔵ドライブが複数のパーティションに分割されています。内蔵ドライブでパーティションを分割するときは、少なくとも 1 つのパーティションが総容量の半分以上の容量であるようにしてください。例えば、1.8TB のドライブでは、少なくとも 1 つのパーティションが 900GB よりも大容量である必要があります。
- 内蔵ドライブに問題があります。



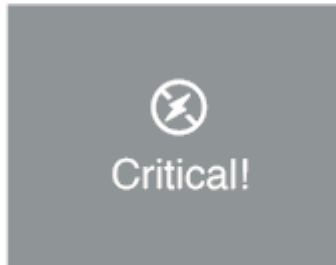
内部温度がやや高い温度のしきい値を超えました。

- DJI Copilot の温度を下げるため、DJI Copilot を日の当たらない場所や光が少ない場所に置いてください。
- メッセージを確定するにはアクション ボタンを短押しします。



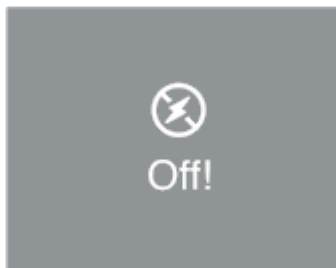
内部温度が高温のしきい値を超えました。

- DJI Copilot の温度を下げるため、DJI Copilot を日の当たらない場所や光が少ない場所に置いてください。
- メッセージを確定するにはアクション ボタンを短押しします。



内部温度が危険な温度のしきい値を超えました。

- DJI Copilot の温度を下げるため、DJI Copilot を日の当たらない場所や光が少ない場所に置いてください。
- アクション ボタンを押し、重大な警告がLCDに表示されなくなったことを確認することによって、待機状態を確定してください。



内部温度が危険な温度のしきい値を超えました。DJI Copilot をシャットダウンする必要があります。

- DJI Copilot の温度を下げるため、DJI Copilot を日の当たらない場所や光が少ない場所に置いてください。

仕様

筐体の寸法

方向	寸法 (mm/インチ)
方向	136 / 5.35
高さ	36 / 1.42
長さ	110 / 4.33

筐体の重量

重量 (g / オンス)
546 / 19.26

電気仕様

- ❗ 電源ポートを使用してデバイスを充電するときは、デバイスに同梱されている電源のみを使用してください。他の DJI、LaCie、サードパーティのデバイス用の電源装置を使用すると DJI Copilot が故障する可能性があります。USB-C ポートを使用したデバイスの充電の詳細は、[DJI Copilot の充電](#)をご覧ください。

温度範囲

周辺環境	温度範囲
標準 (動作時)	0~35°C

デバイスの温度が上昇する場合

次のような特定の処理の実行中には、デバイスに触れたときに温度の上昇を感じる場合があります。

- 大量のファイルのコピーまたは移動。
- モバイル デバイスに接続した状態でのファイルのコピーまたは移動。
- PC や Mac に接続した状態でのファイルのコピーまたは移動。

これらの状況は、正常な状態です。コピーが終了すると、デバイスは通常の温度に戻ります。

次のような、周辺温度が高くなる状況では、デバイスのパフォーマンスが変わる可能性があります。

- デバイスを直射日光の当たる場所に長時間置いたままにした場合。
- デバイスを暑い日に自動車などの温度の高い密閉された場所に置いたままにした場合。

温度の警告の画面が表示された場合

デバイスの内部温度が一定の温度しきい値を超えた場合は、LCD に次のような温度の警告が表示されます。



DJI Copilot の温度を下げるため、DJI Copilot を日の当たらない場所や光が少ない場所に置いてください。



セットアップ

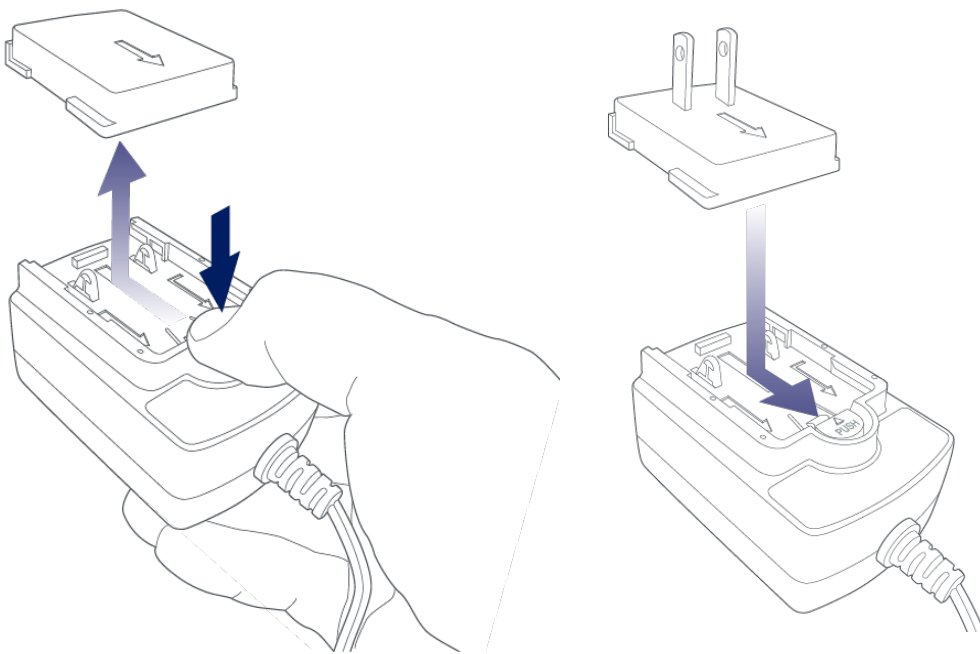
Copilot BOSS アプリを使用して DJI Copilot をセットアップする必要があります。次の手順に従ってください。

ステップ 1: Copilot BOSS アプリをインストールする

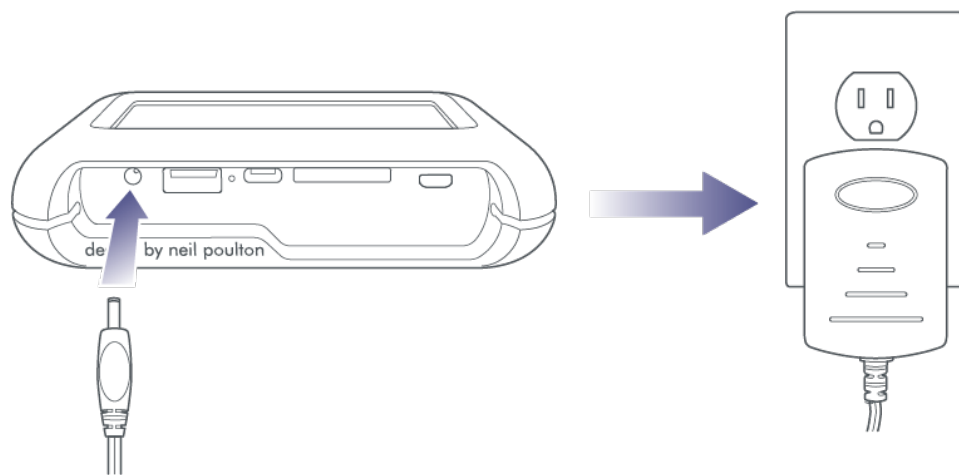
1. Google Play ストア (Android) または App Store (iOS) に移動します。
2. Copilot BOSS アプリを検索して選択します。
3. 画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

ステップ 2: 電源ケーブルを準備して接続する

1. ユニバーサル電源のリリース タブを押してセーフティ カバーのロックを解除します。カバーを奥にスライドさせて取り外します。
2. 電源装置の溝の部分に、お住まいの地域用のアダプタ プラグを取り付けます。アダプタを手前にスライドさせて所定の位置で固定します。



3. 電源ケーブルを DJI Copilot の電源入力端子に接続します。次に、電気が通っている電源コンセントに電源を接続します。

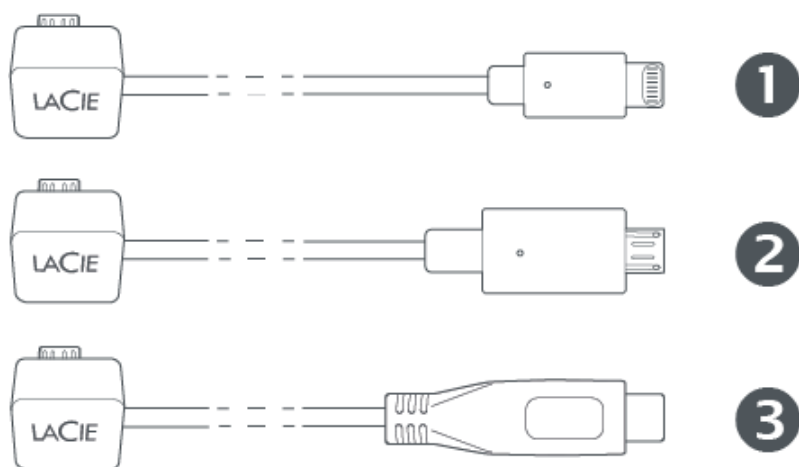


！ デバイスに同梱されている電源装置のみを使用してください。他の DJI、LaCie、サードパーティのデバイス用の電源装置を使用すると DJI Copilot が故障する可能性があります。

✎ 設定プロセス中は必ず DJI Copilot を電源に接続して充電してください。

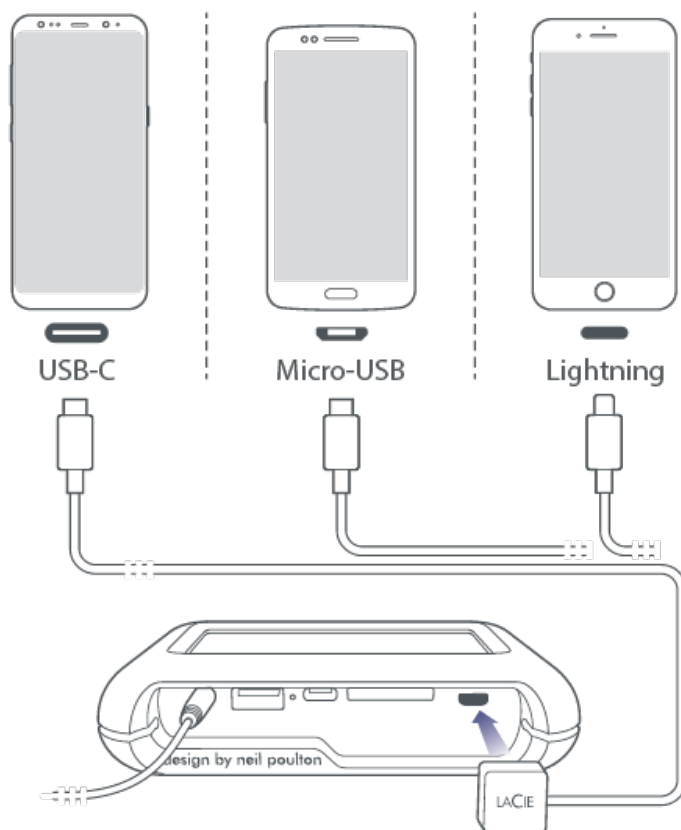
ステップ 3: モバイル デバイスを DJI Copilot に接続する

DJI Copilot には 3 種類の取り外し可能なケーブルが付属し、モバイルポートを一般的なモバイル デバイスに接続できます。



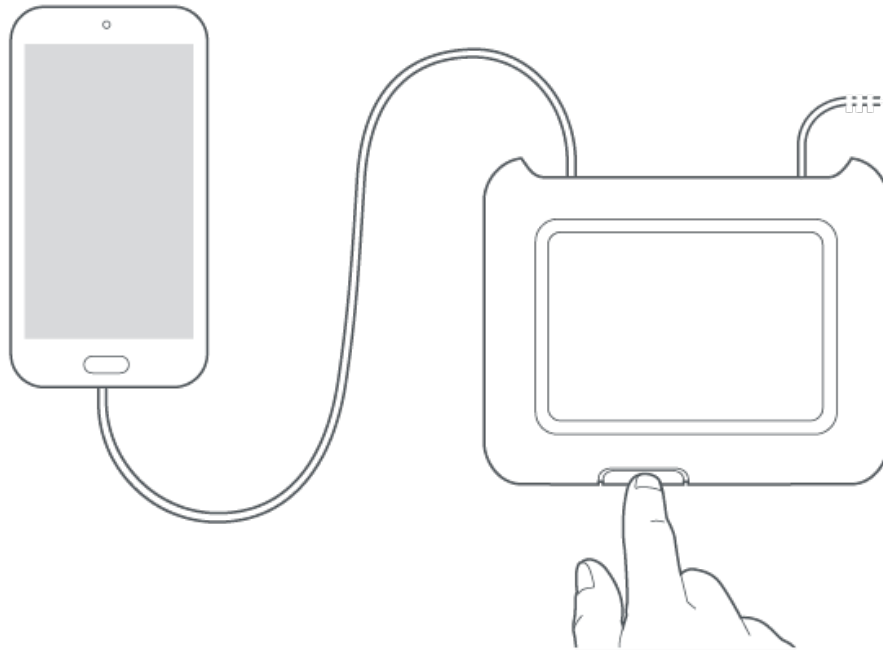
1. Lightning: iOS デバイス
2. Micro-USB: Micro-USB ポート搭載 Android デバイス
3. USB-C: USB-C ポート搭載 Android デバイス

1. 適切なケーブルのブロックの端を DJI Copilot のモバイルポートに接続します。
2. ケーブルのもう片方の端をモバイルデバイスに接続します。

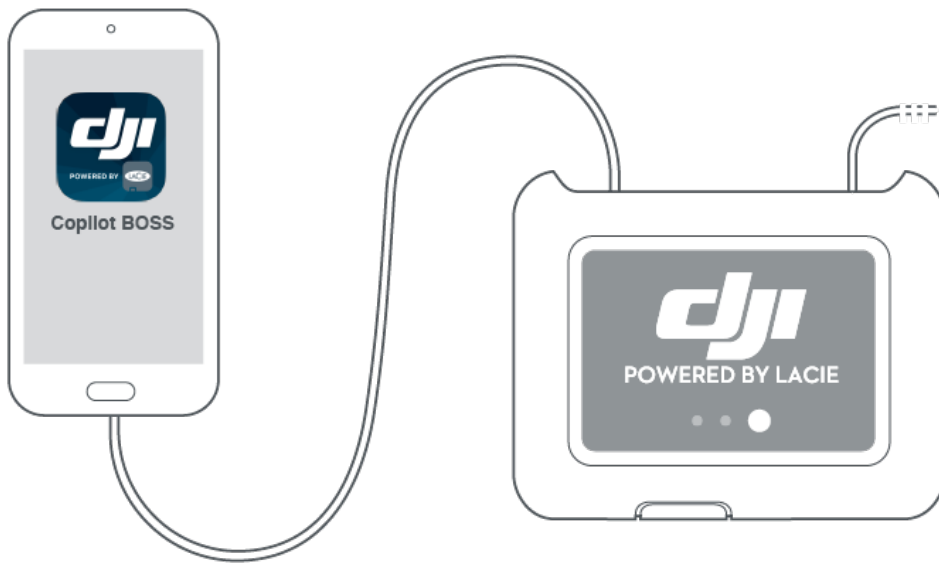


ステップ 4: モバイル デバイスを検出して Copilot BOSS を起動する

1. モバイル デバイスの電源が入っていて、ロックが解除されていることを確認します。
2. アクション ボタンを押すと、DJI Copilot がモバイル デバイスを検索できるようになります。



3. Copilot BOSS が自動的に開きます。20 秒近くかかる場合があります。アプリが自動的に開かない場合は、モバイル デバイスで Copilot BOSS アプリをタップします。



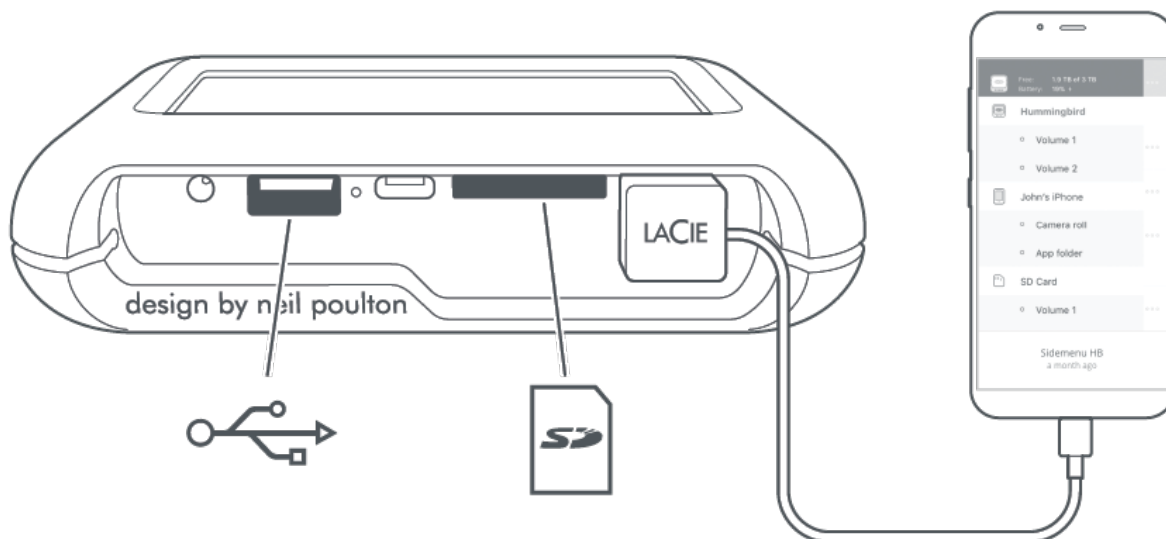
4. Copilot BOSS のプロンプトに従います。

セットアップが完了

これで、DJI Copilot でメディアを管理したり保存したりできるようになりました。

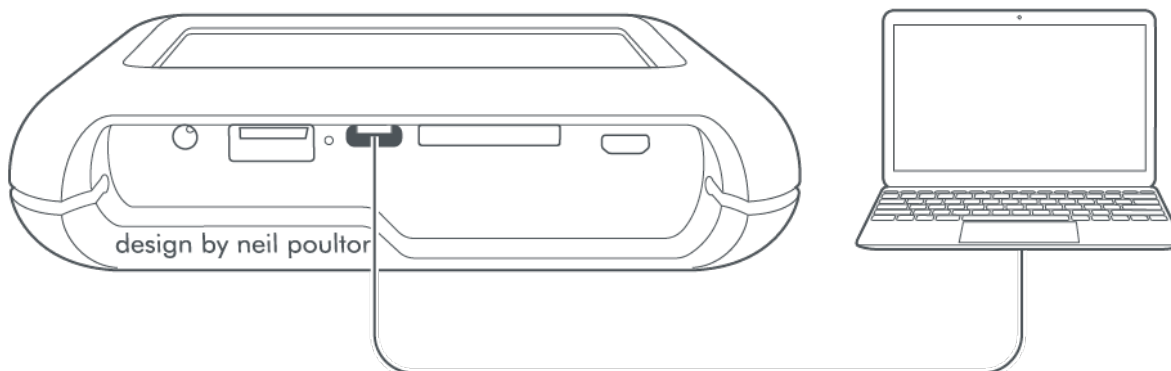
Copilot BOSS によるファイルのコピーや移動

Copilot BOSS を使用して DJI Copilot と接続されているストレージ デバイス、SD カード、モバイル デバイス上のファイルを管理できます。詳細については、[COPILOT BOSS アプリ](#)を参照してください。



PC/Mac との接続

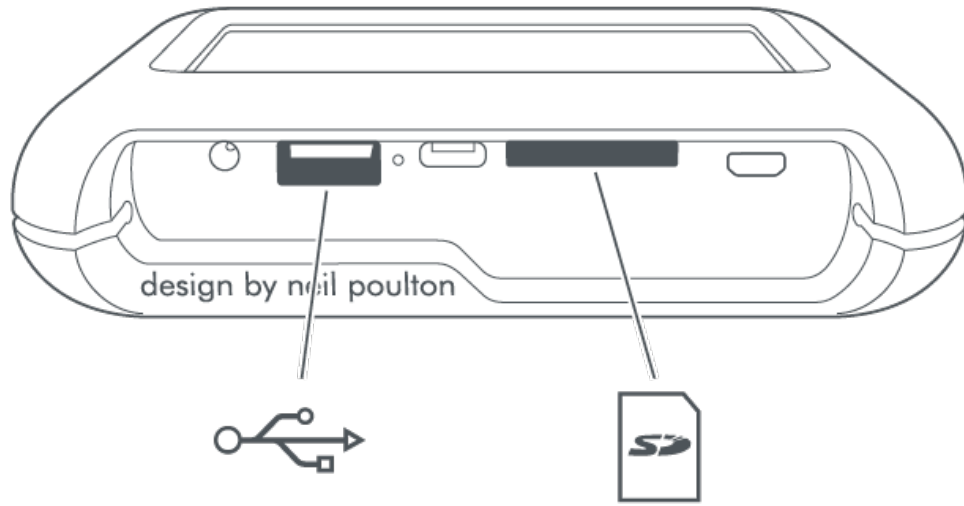
DJI Copilot は、PC/Mac と接続すると大容量のハード ドライブとハブになります。ハード ドライブは Windows や Mac のコンピュータと簡単に接続できるようにフォーマットされています。



コンピュータと USB-C ポートとの接続については、[重要なお知らせ](#)をご覧ください。

アクション ボタンによる簡単コピー

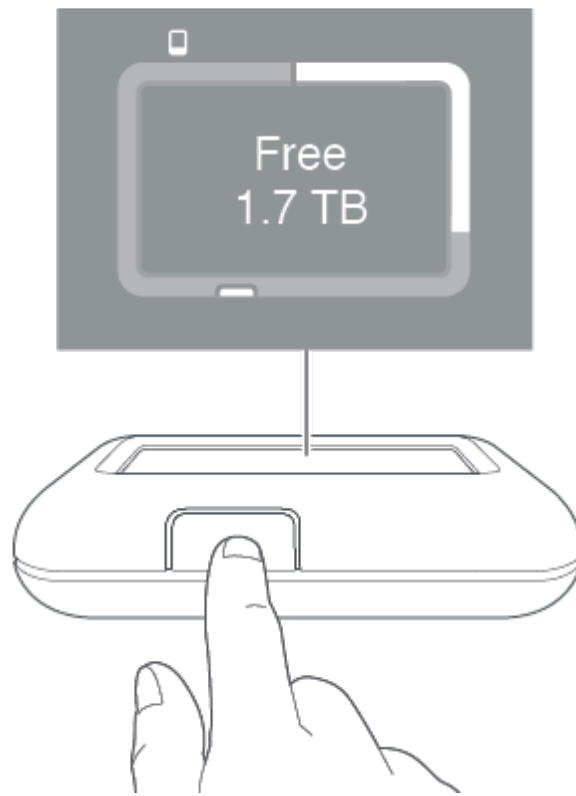
アクション ボタンを押すだけで、SD カードや USB 接続のデバイスからファイルがコピーされます。詳細については、[簡単コピー](#)を参照してください。



アクションボタンによるスキャン

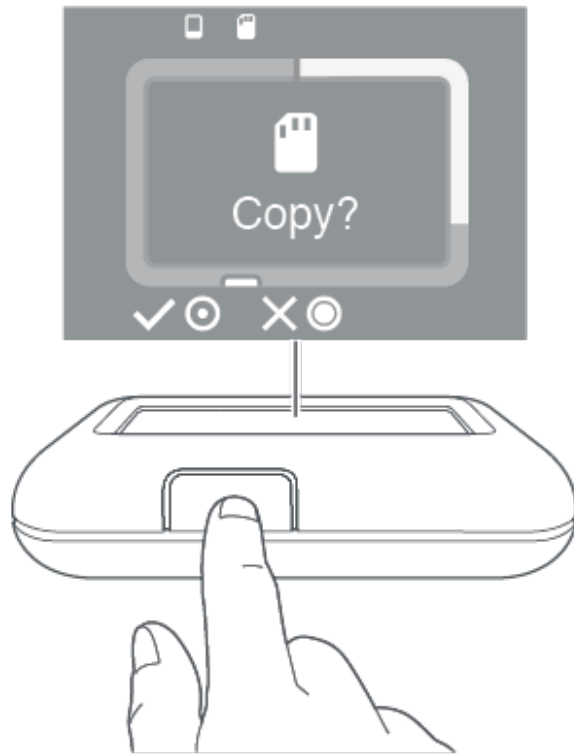
一度目に押したとき

アクションボタンを一度目に押したときは、接続されているモバイル デバイスの、接続されているケーブルがスキャンされます。LCD には、現在利用可能なストレージの容量が表示されます。



二度目に押したとき (一度目に押してから 10 秒以内)

アクションボタンを二度目に押したときは、SD カードや USB 接続のデバイスの、SD カードや USB のポートがスキャンされます。SD カードや接続されているデバイスが検出されると、[簡単コピー](#)のプロンプトが表示されます。



簡単コピー

DJI Copilotでは、アクション ボタンを押すだけで、SD カードや USB 接続のデバイスから簡単にファイルをコピーできます。

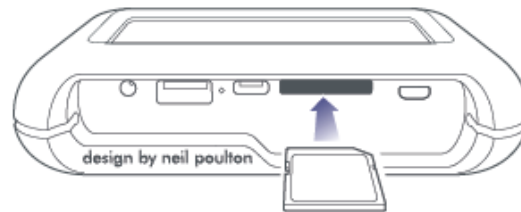


簡単コピーは、次の一般的な転送プロトコルを使用するデバイスのみに対応しています: メディア転送プロトコル (MTP)、画像転送プロトコル (PTP)、マス ストレージ。独自の転送プロトコルを使用するデバイスは未検証です。

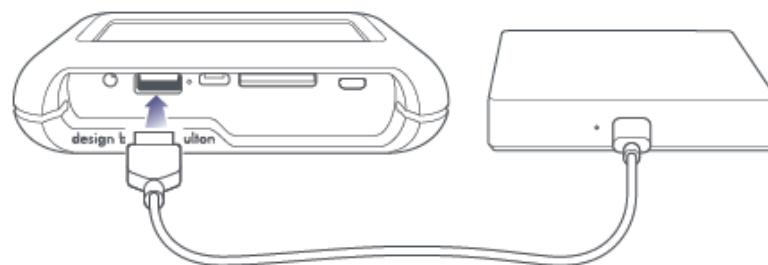
コピー

1. SD カードを挿入するか、デバイス (ストレージ、ドローン、カメラなど) を DJI Copilot の USB ポートに接続します。

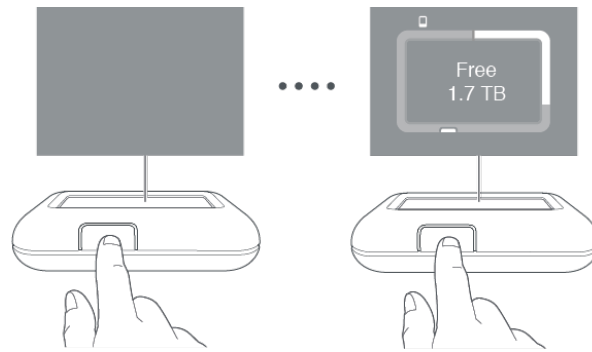
SD Card



USB Storage

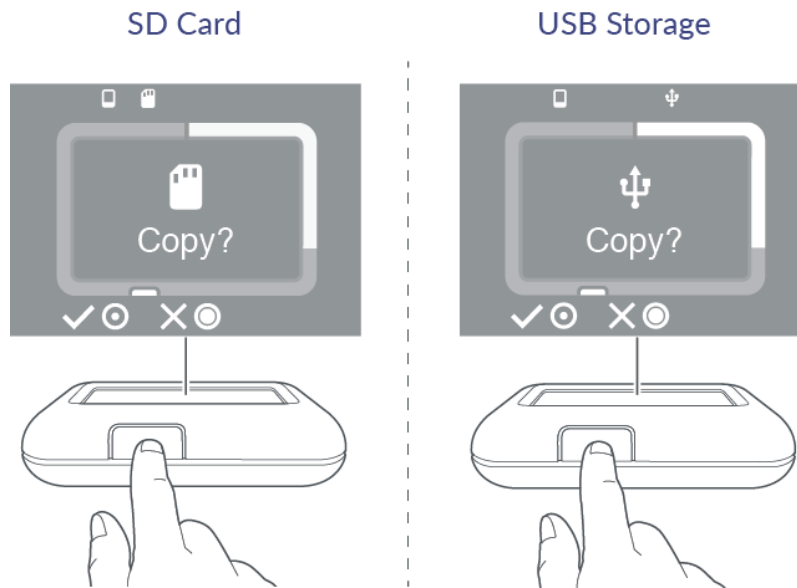


2. アクション ボタンを押すと DJI Copilot のステータスが表示されます。もう一度アクション ボタンを押すと (10 秒以内) DJI Copilot が SD や USB のポートを検索します。

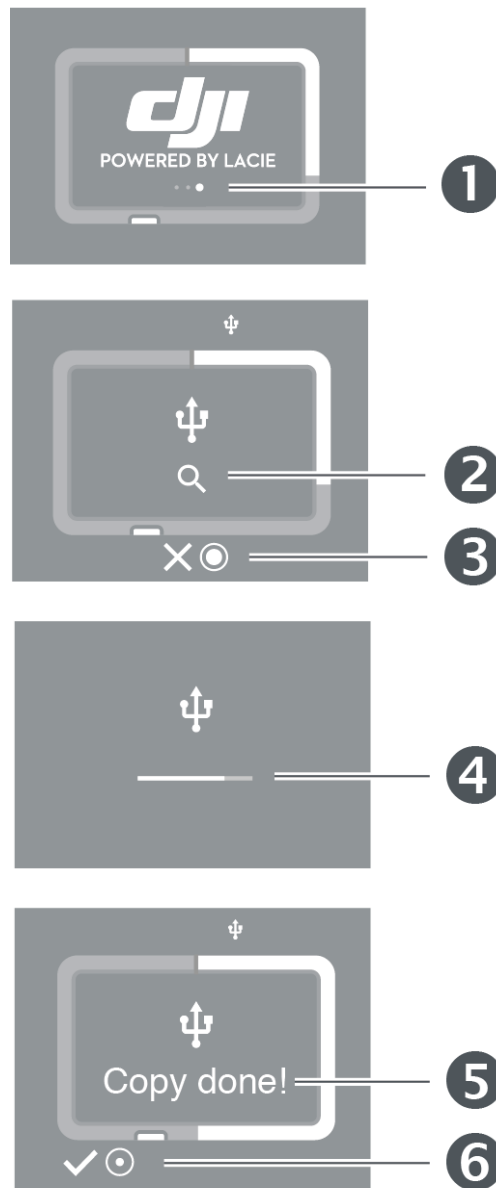


SD カードや接続されたデバイスの検出とスキャンには 20 秒近くかかる場合があります。

3. DJI Copilot で、コピーを確定またはキャンセルするプロンプトが表示されます。アクション ボタンを押します。確定するには短押し (1 秒) し、キャンセルするには長押し (3 秒) します。



4. 確定すると、DJI Copilot ですべてのファイルがコピーされます。LCD にコピーのステータスが表示されます。



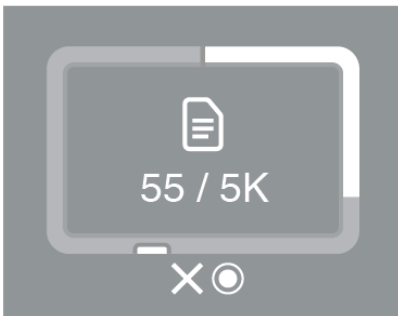
1. 操作の実行中 - お待ちください
2. 読み取り中
3. 長押し (3 秒) でキャンセル
4. コピー
5. 完了
6. 短押し (1 秒) で確定

5. 簡単コピーが完了したら、SD カードまたは USB デバイスを取り外します。DJI Copilot では、カードやデバイスが検出されると必ず簡単コピーのプロンプトが表示されます。

! 簡単コピーでは必ずストレージ デバイスのすべての内容がコピーされます。また、完全コピーとして実行されます。簡単コピーでは増分コピーはできません。

簡単コピーのキャンセル

LCD の X のアイコンは、DJI Copilot のアクション ボタンで操作をキャンセルできることを示しています。

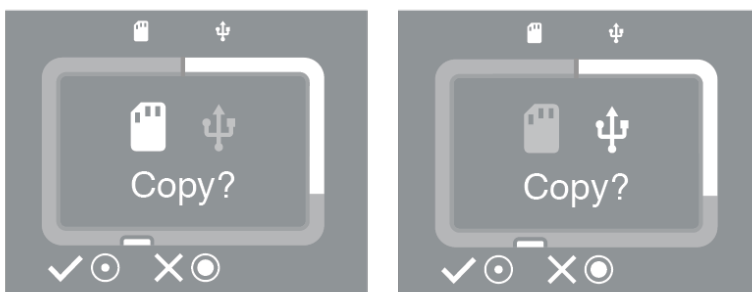


コピーをキャンセルするには、DJI Copilot のアクション ボタンを 3 秒間押し続けます。

ポートを簡単コピーのキューに追加

DJI Copilot でポートをスキャンして SD カードと USB 接続のデバイスの両方が同時に検出された場合は、両方のポートを簡単コピーのキューに追加できます。

1. アクション ボタンを押して、ハイライト表示されているポートの簡単コピーを確定またはキャンセルします。確定するには短押し (1 秒) し、キャンセルするには長押し (3 秒) します。



2. 二番目のポートからの簡単コピーを確定またはキャンセルします。



SD カードと USB 接続のデバイスの両方が同時に検出された場合は、ポートをキューに追加できます。ただし、現在 DJI Copilot が簡単コピーを実行中で、その後に新しいカードやデバイスが見つかった場合は、キューは作成できません。

簡単コピーのデータ命名規則

簡単コピー時に、DJI Copilot では次の命名規則を使用してフォルダを作成します。

YYYYMMDD.HHMM.UUID.N

これらのフォルダは、DJI Copilot のルートの Backups フォルダに保存されます。

YYYY	年
MM	月
DD	日
HH	時間 (24 時間)
MM	分
UUID	ファイルのコピー元のデバイスを指定するユニバーサルな一意の識別名
N	セッション番号

次のディレクトリを例にとります。

20181001.1306.XFGT6G.1

DJI Copilot は、このディレクトリを 2018 年 10 月 1 日の午後 1 時 6 分に作成しました。コンテンツのソースは、UUID が XFGT6G のデバイスでした。この日に、このデバイスから行われた初めてのコンテンツのアップロードでした。

増分コピーの実行

増分の設定

Copilot BOSS の新しいバージョンには増分コピー機能があります。増分コピー機能はデフォルトで有効化されています。また、[設定] > [SD/USB のコピー] で管理できます。



設定が見つからない場合は、Copilot BOSS を最新バージョンにアップデートしてください。

増分コピーとフルコピー

増分コピーでは、以前に取り込んだ SD カードや USB ストレージ デバイスに追加された新しいコンテンツのみがコピーされます。一方、フルコピーでは、SD カードや USB ストレージ デバイスを接続するたびにすべてのファイルが対象になります。すべ増分コピーは、ストレージ容量、バッテリー寿命、時間を節約できます。

SD カードや USB ストレージ デバイスを DJI Copilot に初めて接続したときは、フルコピーが行われます。増分コピーを有効化すると、以降のコピーでは、該当するストレージ デバイスに追加された新しいファイルのみが対象になります。コピーされたファイルを [DJI Copilot] > [バックアップ] で表示すると、フォルダ名はコピーがフルであるか増分であることを示しています。

バックアップ タ フォルダ名の例 イプ

フル	20190401_1120_Garmin_VirbUltra30_878555
増分	20190401_1120_Garmin_VirbUltra30_878555_updates

バックアップ フォルダの削除と増分コピー

以前に取り込んだ SD カードまたは USB ストレージ デバイスのフルや増分のフォルダを削除すると、特定の警告メッセージが通知される場合があります。デバイスに新しいファイルがないことを示し、フルコピーを実行するかどうかを問う警告メッセージが表示されます。ファイルが削除されているためフルコピーが自動的に実行されると予想されます。しかし、Copilot BOSS は以前に取り込んだデバイスを認識しているので、増分コピーのオプションが有効化されている場合は新しいファイルのみが検索されます。フルコピーを開始すると、以降の取り込みで新しいファイルのみが対象になるようにストレージ デバイスのコンテンツを復元できます。



DJI Copilot のクローニング

クローンの設定

Copilot BOSS の新しいバージョンにはクローン機能があります。[設定] > [DJI Copilot のクローン] で、ステップ順の説明とクローンの詳細情報を確認できます。



設定が見つからない場合は、Copilot BOSS を最新バージョンにアップデートしてください。

クローニング

クローン機能によって、DJI Copilot に保存されているコンテンツを簡単にバックアップできます。クローンは、DJI Copilot の容量が少なくなっている場合や、メディアを複数のストレージ デバイスで保持して保護したい場合に最適です。初めてクローニングを実行するときには、DJI Copilot に保存されているすべてのファイルがクローンによって他のストレージ デバイスにバックアップされます。以降のクローニングを同じストレージ デバイスで行う場合は、DJI Copilot に追加された新しいファイルのバックアップのみが行われます。別のストレージ デバイスをクローニングのために接続すると、フルバックアップが開始されます。

クローニングの規則

DJI Copilot のクローニングには十分なストレージ容量と電力が必要です。最初に以下のクローニングの規則を確認してください。

- クローニング先のストレージ デバイスには、DJI Copilot よりも多い容量が必要です。DJI Copilot と同じ容量またはそれ以下の容量にはできません。例えば、お使いの DJI Copilot のストレージが 2TB である場合は、2TB よりも容量の多いストレージ デバイスが必要です。
- クローニング先のストレージ デバイスが DJI Copilot の USB Type A ポートに接続されている必要があります。DJI Copilot の USB-C ポートはコンピュータとの接続専用です。クローニングには使用できません。
- DJI Copilot が電源に接続されている必要があります。また、通電しているコンセントに電源が接続されている必要があります。クローニングは時間がかかる場合があり、バッテリーが大量に使用されます。そのため、電源を接続してクローニングを開始する必要があります。
- 初めてクローニングを開始する場合は、Copilot BOSS を使用する必要があります。同じストレージ デバイスへの以降のクローニングは、DJI Copilot のハードウェア ボタンから開始できます。

クローンの実行

上記の規則をガイドラインとして使用して、Copilot BOSS のプロンプトに従います。

クローンドライブの指定

上記のクローニングの規則に従うと、Copilot BOSS で、ドライブをクローンドライブとして指定することを求めるプロンプトが表示されます。クローンとして指定すると、ドライブにはコピーのプロンプトが表示されなくなります。これは、クローンとして使用されているストレージデバイスを運悪く接続してしまい、すべてのファイルが誤って DJI Copilot にコピーされる場合を考慮したものです。さらに、初回のクローニング後は、クローンドライブを DJI Copilot に接続して、LCD の「Copy?」プロンプトでボタンを押すことができます。すでにクローンドライブとして使用されているので、DJI Copilot は自動的に新しいファイルをストレージデバイスにクローニングしません。DJI Copilot にファイルはコピーされません。

クローンドライブの指定の解除

ストレージデバイスをクローンドライブとして使用しなくなった場合は、Copilot BOSS で指定を変更できます。

1. クローンドライブを DJI Copilot に接続します。
2. モバイルデバイスで Copilot BOSS を起動します。
3. 左側のメニュー ドロワーを開きます。
4. ドライブを長押しします。
5. [クローンドライブの無効化] をタップします。

または、右側の詳細メニューをタップして [クローンドライブの無効化] を選択できます。

ストレージデバイスがクローンドライブとして指定されていない状態になりますが、クローンドライブを無効化してもバックアップされたファイルは削除されません。

クローンドライブのディレクトリ

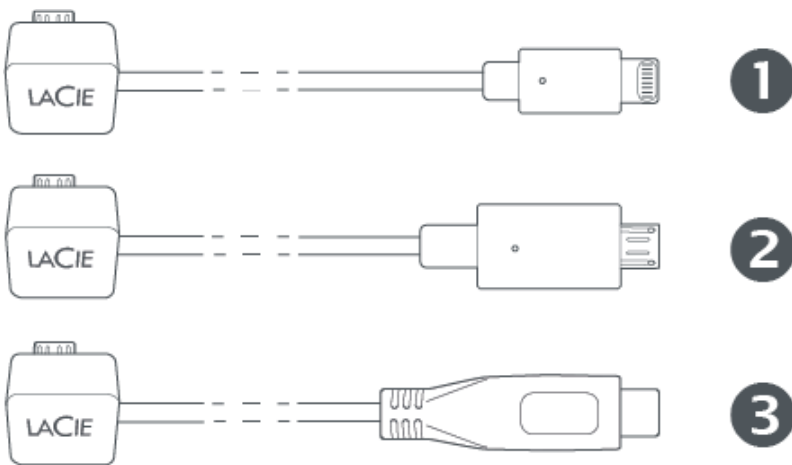
クローニング先のクローンドライブにはクローンフォルダがあり、バックアップが実行日で整理されています。DJI Copilot のファイルが以前のクローンの後に削除または変更された場合、オリジナルバージョンは Archive という名前のフォルダに移されます。

接続

下記の重要なお知らせで、デバイスと DJI Copilot との接続の詳細について説明しています。

モバイル デバイスのポート

モバイル デバイスのポートは、Micro-USB のサイズに準拠しています。3 種類のカスタム ケーブルのいずれかを使用してモバイル デバイスを DJI Copilot に接続します。



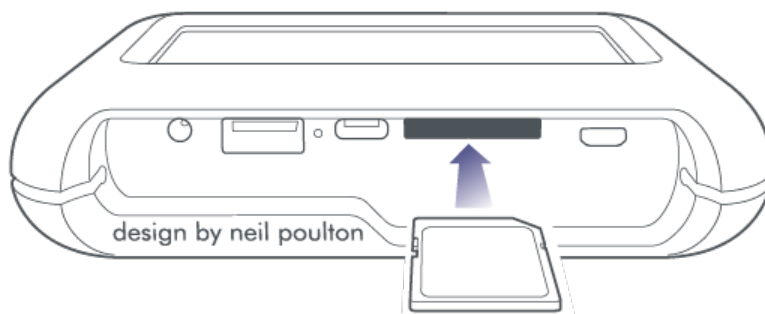
1. Lightning: iOS デバイス
2. Micro-USB: Micro-USB ポート搭載 Android デバイス
3. USB-C: USB-C ポート搭載 Android デバイス

! サードパーティのケーブルを使用した接続は未検証です。安定性を保証できません。

i iPad Pro with USB-C – DJI Copilot を USB-C ポート搭載の iPad Pro に接続するには、最新のファームウェアが必要です。詳細は、[こちらのナレッジベースの記事](#)をご覧ください。

セキュア デジタル (SD) カード ポート

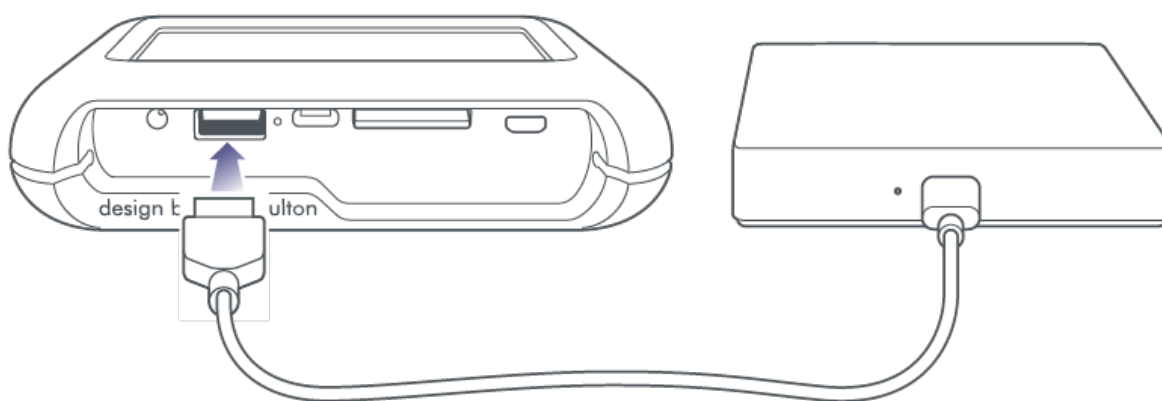
SD カードを SD カード スロットに挿入します。microSD カードの場合は、同梱の microSD - SD アダプタを使用します。



同梱の microSD - SD UHS-I アダプタは UHS-I カードおよび UHS-II microSD カードの両方と互換性があります。UHS-II microSD カードからコピーする場合は、最高のデータ転送性能を実現するために UHS-II アダプタが必要になることがあります。

USB Type A ポート

USB Type A ポートでは、さまざまな外付けデバイスを DJI Copilot と接続できます。デバイスのメーカーが推奨する USB ケーブル (同梱されていません) を使用して、デバイスを DJI Copilot の Type A ポートと接続します。



！ 電源搭載デバイスと USB の警告

デスクトップストレージ、ドローン、カメラなどの電源が搭載されているデバイスを接続する場合は、DJI Copilot のアクション ボタンを押す前にデバイスの電源が入っていることを確認してください。デバイスの電源が入っていない場合は、DJI Copilot の LCD に、USB 接続の確認を求めるエラーメッセージが通知されます。

電源が入っている場合に LCD に通知されないデバイスもありますが、その場合も Copilot BOSS アプリで接続は認識されません。

デバイスの電源を入れて DJI Copilot に接続したら、LCD の**簡単コピー**のプロンプトに従うか、Copilot BOSS アプリを使用してデバイスのデータのコピーや管理を行います。

USB Type A の接続についての重要なお知らせ

ドローン、デジタル一眼レフカメラ、自動露出カメラ、ビデオ デバイス

USB ポートを搭載している撮影機器は、DJI Copilot に直接接続できます。機種によって異なる場合があるため、必ずデバイスのポートに対応しているケーブルを使用してください。LCD に USB のエラーが通知された場合は、電源搭載デバイスに関する前述の注意事項をご覧ください。

iPhone、iPad、Android 携帯電話やタブレット

USB ストレージや撮影機器は想定されているデバイスですが、DJI Copilot では、iPhone、iPad、Android 携帯電話やタブレットに保存されているファイルも Type A ポートからコピーできます。Type A ポートに接続されたストレージ デバイスと同様に、簡単コピーでモバイル デバイスのストレージ内のすべてのコンテンツをコピーできます。ただし、簡単コピーを実行すると、モバイル デバイスのすべてのシステム ファイルもコピーされます。適切にコピーするには、モバイル デバイスを専用の接続ケーブルで DJI Copilot に接続して、Copilot BOSS で必要なファイルのみを選択してください。

モバイル デバイスを Type A ポートに接続して簡単コピーを選択すると、LCD に USB 接続を確認するようにエラー メッセージが通知される場合があります。Android と iOS のどちらでも、接続されたデバイスがファイルにアクセスできる権限が必要です。Android の多くのデバイスとすべての iOS のデバイスでは、簡単なポップアップ ダイアログで同意できます。Android デバイスでポップアップが表示されない場合は、USB 接続の設定に移動してファイルの共有に同意してください。一部の Android デバイスのデフォルト設定では、接続されたバッテリー搭載デバイスがモバイル デバイスから充電することを許可していますが、この設定はお勧めしません。

Android や iOS のモバイル デバイスからのコピーでは、カメラ ロールからメディア ファイルがバックアップされます。モバイル デバイスからのコピーはデバイスのバックアップではなく、フルバックアップとはみなされません。

USB ハブ

USB ハブは複数の USB ストレージ デバイスに対応できますが、DJI Copilot では、その中の 1 つしか認識できません。Copilot BOSS アプリを使用して、USB ハブで管理するデバイスを選択してください。

コンピュータ - 非推奨

USB ケーブルで、USB Type A ポートからコンピュータを DJI Copilot に接続できますが、お勧めしません。ファイルのコピーのような作業は、Type A ポートに接続されている場合はコンピュータで実行できません。USB からの充電が可能なコンピュータがコンセントに接続されていない場合、DJI Copilot のバッテリーが急激に消耗します。コンピュータとの接続は、DJI Copilot の USB-C ポートで行ってください。

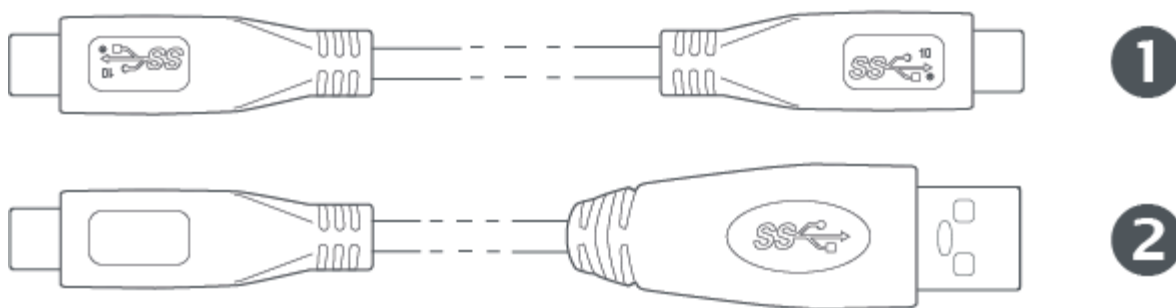
USB-Cポート

DJI Copilot は、PC や Mac と接続すると大容量のハード ドライブとハブになります。

DJI Copilot の USB-C ポートはコンピュータとの接続を意図したものです。次のオペレーティング システムのコンピュータを使用してください。

- macOS 10.12 (Sierra) 以降
- Windows 10 以降

同梱のケーブルのいずれかを使用してコンピュータを DJI Copilot に接続します。



1. USB 3.1 Type C
2. USB 3.0 Type C to A

i iPad Pro with USB-C – DJI Copilot を USB-C ポート搭載の iPad Pro に接続するには、最新のファームウェアが必要です。詳細は、[こちらのナレッジベースの記事](#)をご覧ください。

USB-C の接続についての重要なお知らせ

Copilot BOSS アプリと USB-C 接続

DJI Copilot を PC や Mac 用のハード ドライブとして使用するには、DJI Copilot が節電モードであることを確認してからコンピュータに接続します。節電モードは非アクティブ状態になってから 2 分後に開始されます。または、Copilot BOSS アプリの設定から選択できます。モバイル デバイスが接続ケーブルに接続されていないことを確認してください。この状態では、データの転送はコンピュータによって管理されます。モバイル デバイスを DJI Copilot に再接続しても、コンピュータが動作を管理しているので、Copilot BOSS アプリでは DJI Copilot のファイルの読み取りや書き込みはできません。

- ! モバイル デバイスが接続されている場合やコピーが実行中の場合に DJI Copilot を PC や Mac に接続すると、現在の動作の中断を回避するため、ファイル管理はコンピュータに渡されません。モバイル デバイスを取り外すまで DJI Copilot はコンピュータのファイル マネージャには表示されません。

コンピュータからの取り外し後のリフレッシュ

DJI Copilot がコンピュータから安全に取り出されて、ケーブルが取り外されると、DJI Copilot のアクション ボタンを押してリフレッシュを行うようにプロンプトが表示されます。DJI Copilot のシステムは、コンピュータとの接続中は節電モードであったため、復帰して、利用可能なストレージやバッテリーの充電のステータスの詳細を更新する必要があります。

DJI Copilot のハード ドライブのフォーマット

DJI Copilot で使用されているデフォルトのストレージのフォーマット (exFAT) は Mac と Windows の両方に対応していますが、次のいずれかのフォーマットに変更することによって転送速度が向上する可能性があります。

- macOS: HFS+ (ジャーナリング)
- Windows: NTFS

フォーマットを変更するには、オペレーティング システムのデフォルトのユーティリティを使用してください。

- ! フォーマットを行うとハード ドライブのすべてのデータが削除されます。ドライブをフォーマットする前に、DJI Copilot のすべてのデータを別のハード ドライブにコピーしておいてください。

詳細は、お使いのオペレーティング システムの説明をご覧ください。

- [macOS](#)
- [Windows](#)

DJI Copilot の内蔵ドライブのパーティション分割

一般的には、パーティションの代わりにフォルダを使用して DJI Copilot の内蔵ドライブのコンテンツを整理することをお勧めします。内蔵ドライブのパーティション分割を選択する場合は、少なくとも 1 つのボリュームが 1.8TB のストレージ総容量の 50 パーセント以上であることを確認してください。DJI Copilot では、最低 900GB のストレージ容量以上の 1 つのボリュームが必要です。

ハブ - SD カードと USB Type A ポート

DJI Copilot は、USB-C ポートでコンピュータと接続されている場合はハブとして機能します。このため、DJI Copilot に接続されている SD カードや USB ストレージ デバイスをコンピュータで利用できます。

USB-C でのモバイル デバイスの接続

Android や iOS のモバイル デバイスを DJI Pilot の USB-C ポートに接続することができますが、この接続方法は標準的ではなく、未検証です。また、USB-C ポートにモバイル デバイスを拡張して接続すると、モバイル デバイスのバッテリーや DJI Copilot からの充電が急激に消耗する場合があります。

- ！ 専用の接続ケーブルでモバイル デバイスを DJI Copilot に接続することを強くお勧めします。この方法によって、Copilot BOSS アプリを使用して、DJI Copilot とモバイル デバイスでデータを管理できます。

簡単コピーや Copilot BOSS アプリの操作中の PC や Mac との接続

DJI Copilot は、簡単コピーの実行中や Copilot BOSS のファイル管理操作 (ファイルのコピー、移動、削除など) 中でも PC や Mac に接続できます。DJI Copilot のドライブは、次の状態のときに PC や Mac で使用できます。

1. 操作が完了しようとしている。
2. DJI Copilot が節電モードに移行している。

DJI Copilot を PC や Mac に接続するにはボタンを 1 回押す必要があります。

DJI Copilot の充電

DJI Copilot は次の方法で電力を受け取ります。

- 電源コンセントに接続された付属の電源装置。
- コンピュータまたは充電器 (USB-C 電源アダプタや外部バッテリーなど) との USB-C 接続。

電源装置

DJI Copilot を付属の電源装置で完全に充電するには数時間かかる場合があります。DJI Copilot が起動中の場合は、再充電の時間が追加される可能性があります。

- ！ 電源ポートを使用してデバイスを充電するときは、デバイスに同梱されている電源のみを使用してください。他の DJI、LaCie、サードパーティのデバイス用の電源装置を使用すると DJI Copilot が故障する可能性があります。USB-C ポートを使用したデバイスの充電の詳細は、後述の [USB-C 接続](#) をご覧ください。

USB-C 接続

DJI Copilot は、USB-C ポートでコンピュータ、充電器、外部バッテリーと接続するとバッテリーに受電できます。

- 充電の速度は、接続した電源からの電流によって異なります。
- DJI Copilot を完全に充電するには数時間かかる場合があります。
- 1.5A 未満の電源供給の場合は、低速または非常に遅い充電速度になる可能性があります。

DJI Copilot からのモバイル デバイスの充電

DJI Copilot は、モバイル ポートまたは USB Type A ポートに接続されたモバイル デバイスを充電できます。

モバイル ポート

通常は、同梱の接続ケーブルを使用してモバイル デバイスを DJI Copilot のモバイル ポートと接続します。この方法で、Copilot BOSS アプリを使用してデータを簡単に管理できます。モバイル ポートは、Lightning と USB-C の接続の場合は 1.5A を給電し、Micro-USB の接続の場合は 900mA を給電します。モバイル ポートに接続された iOS デバイスを充電するときは、DJI Copilot が電源装置から受電していることを確認してください。



接続されている iOS モバイル デバイスは、DJI Copilot が電源装置から受電している場合のみ充電されます。

USB Type A ポート

モバイル デバイスを DJI Copilot の USB Type A ポートと接続することもできます。Type A ポートは、Lightning と USB-C の接続の場合は 1.5A を給電し、Micro-USB の接続の場合は 900mA を給電します。



モバイル デバイスでテザー ケーブルを使用すると、Copilot BOSS アプリで接続できるのは DJI Copilot のみです。モバイル デバイスが USB Type A ポートと接続されている場合は、アプリで DJI Copilot のデータを管理することはできません。

低速充電

「Charging slowly」(低速充電) のメッセージがモバイル デバイスに表示されている場合は、モバイル デバイスがチャージング ダウンストリーム ポート (CDP) をサポートしていないことを意味しています。DJI Copilot は USB Type A 接続でのデディケートド チャージング ポート (DCP) をサポートしていないため、モバイル デバイスは 500mA の低速なスタンダード ダウンストリーム ポート (SDP) の速度で充電されます。高速で充電するには、モバイル デバイスを DJI Copilot のモバイル ポートに接続してください。

DJI Copilot からの互換デバイスの充電

USB 経由で充電するバッテリー搭載デバイスは、DJI Copilot の USB Type A ポートに接続すると最大 1.5A を受電できます。Micro-USB デバイスは最大 900mA の受電が可能です。

システム イベント

節電モード

DJI Copilot は、使用されていないときには、プロセッサを節電モードにしてエネルギーの消費を節約します。DJI Copilot が節電モードに移行しているときは、LCD は次のような表示になります。



デバイスは次の場合に復帰します。

- アクション ボタンが押されてモバイル デバイスが検出された。
- 簡単コピーが起動した (アクション ボタンが二度押されて、Copilot BOSS が SD カードや USB 接続のデバイスを検出した)。

詳細は、[アクション ボタンによるスキャン](#)と[簡単コピー](#)をご覧ください。



プロセッサが復帰するまでに 20 秒近くかかる場合があります。

手動による DJI Copilot の起動

DJI Copilot は以下の方法で手動で起動できます。

1. アクション ボタンを短押し (1 秒) して DJI Copilot のステータスを表示します。
2. 10 秒以内に、アクション ボタンを長押し (3 秒) します。以下のプロンプトが表示されます。



3. 確定するにはアクション ボタンを短押しし、キャンセルするには長押しします。

手動による節電モードの開始

DJI Copilot が起動している場合は、以下の方法で手動で節電モードを開始できます。

1. アクション ボタンを長押し (3 秒) します。以下のプロンプトが表示されます。



2. 確定するにはアクション ボタンを短押しし、キャンセルするには長押しします。

操作の実行中

DJI Copilot が操作中や節電モードから復帰中のときは、LCD は次のような表示になります。



検出されないモバイル デバイス、SD カード、USB デバイスに対する手動操作

アクション ボタンを使用して、通常は自動化されている特定の動作を実行するように DJI Copilot に 命令できます。

モバイル デバイスを手動で検出

DJI Copilot は幅広い種類の接続されたモバイル デバイスを自動的に検出するように設計されていますが、一部のモバイル デバイスではこの自動プロセスが起動されない場合があります。

手動でモバイル デバイスを検出するには、次のようにしてください。

1. DJI Copilot が節電モード (LCD に何も表示されていない状態) に移行するまで待ちます。
2. アクション ボタンを短押し (1 秒) して DJI Copilot のステータスを表示します。
3. アクション ボタンを長押し (3 秒) します。
4. LCD にプロンプトが表示されます。



アクション ボタンを短押しして確定します。

i iPad Pro with USB-C – DJI Copilot を USB-C ポート搭載の iPad Pro に接続するには、最新のファームウェアが必要です。詳細は、[こちらのナレッジ ベースの記事](#)をご覧ください。

簡単コピーのために手動で USB デバイスを検出

一部の USB デバイスはアクション ボタンを二度押しても簡単コピーのために自動検出されません。ステータス画面は表示されますが、USB アイコンは点灯せず、コピーのプロンプトも表示されません。独立した電源 (電源装置、バッテリーなど) を持つ USB デバイスでこの問題が発生することがあります。

簡単コピーのために手動で USB デバイスを検出するには、次のようにしてください。

1. DJI Copilot が節電モード (LCD に何も表示されていない状態) に移行するまで待ちます。
2. アクション ボタンを短く三度押します。二度目と三度目は、直前に押してから 2 秒以内に押してください。
3. DJI Copilot が復帰すると、LCD にコピーを確定またはキャンセルするプロンプトが表示されます。確定するにはアクション ボタンを短押しし、キャンセルするには長押しします。

Copilot BOSS アプリ

Copilot BOSS では、DJI Copilot だけでなく、SD ポートや USB ポートに接続されたデバイス (ドローン、SD カード、USB ストレージ、カメラ、ビデオ カメラなど) に保存されているファイルも管理できます。Copilot BOSS は次の環境で使用できます。

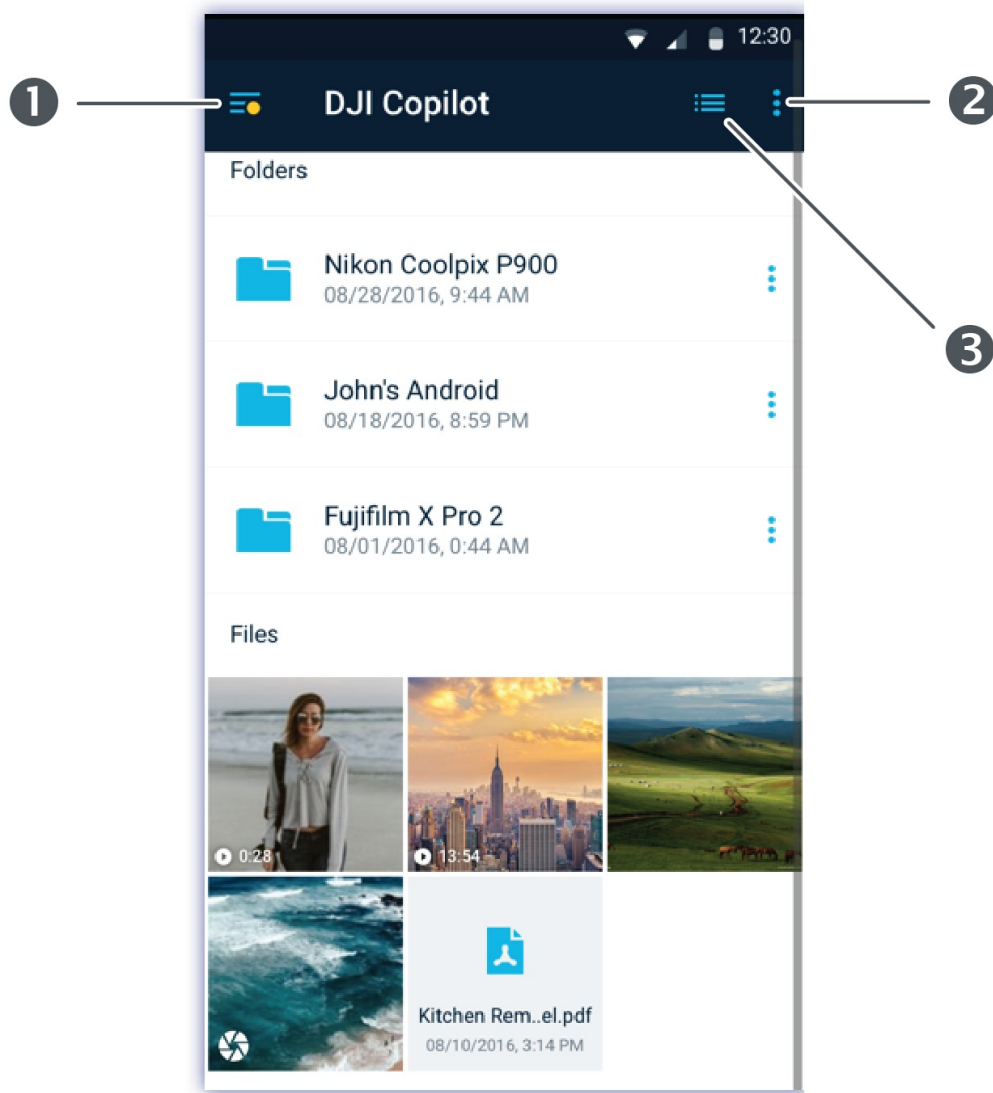
- Android® 4.4 以降
- iOS® 10.3 以降

Copilot BOSS を使用して次のことができます。

- DJI Copilot、接続されている SD カードや USB ドライブ、モバイル デバイスのファイルを表示
- DJI Copilot に接続されている SD カードや USB ドライブからファイルをコピー
- DJI Copilot でのファイルの管理
- LCD とアクション ボタンの代わりに、モバイル デバイスを使用して簡単コピーを確定
- モバイル デバイスを使用してポートを簡単コピーのキューに追加

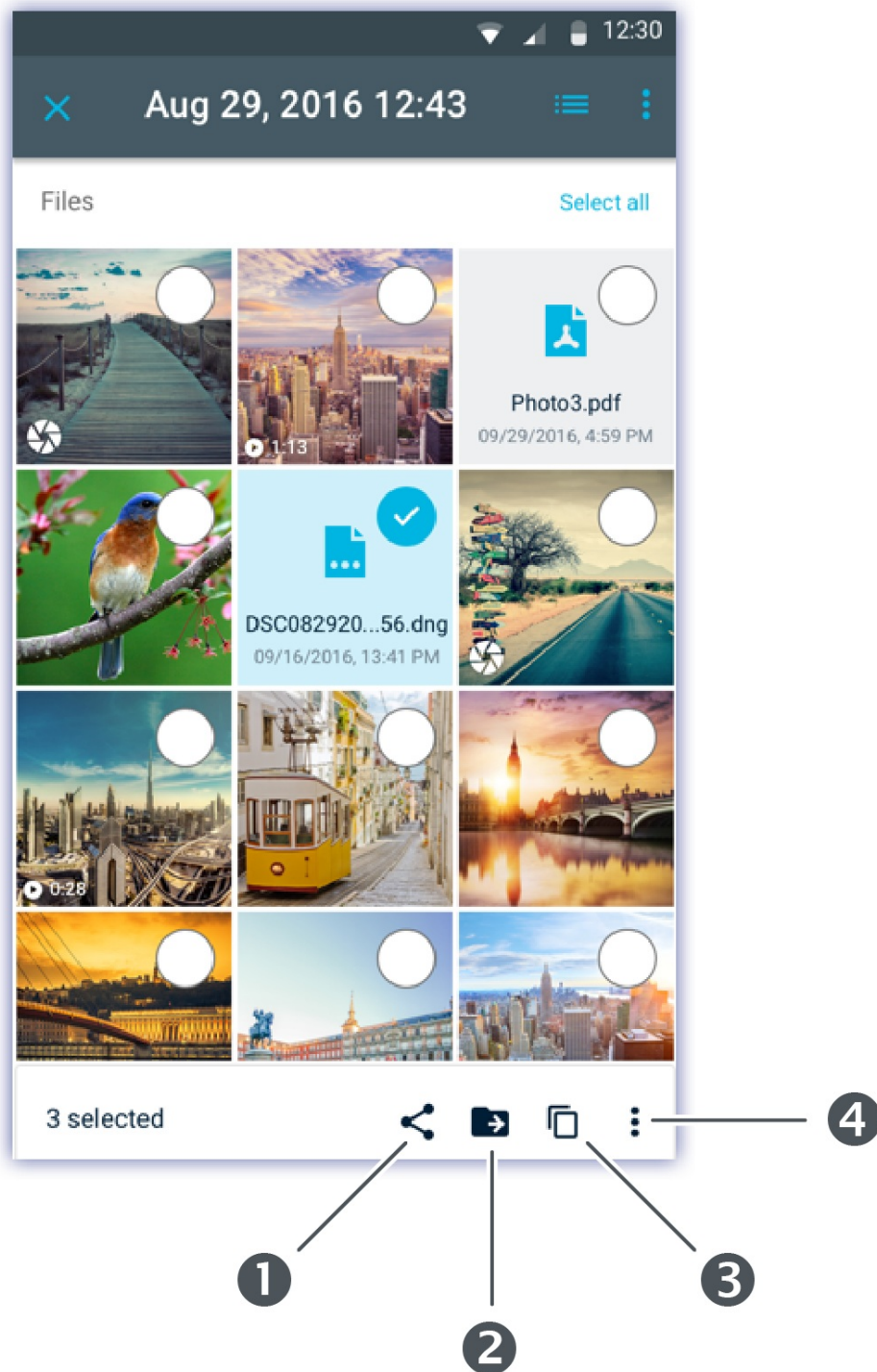
メニューとオプション

ナビゲーションメニューと詳細メニューを使用して、ファイルと Copilot BOSS アプリを管理します。



1. ナビゲーション
2. 詳細
3. 表示

フォルダやファイルを選択すると、画面下部にオプションが表示されます。



1. 共有
2. 移動
3. コピー
4. オプション

デバイスの選択

1. ナビゲーションアイコンをタップします。



2. タップしてデバイスを選択します。



画面の左端からスライドさせて引き出すジェスチャを使用して、ナビゲーションメニューを開くこともできます。

フォルダやファイルの表示

フォルダをタップして開くことによって、フォルダやファイルを閲覧します。戻るアイコンを使用すると、以前のフォルダに戻ります。

表示オプション

表示オプションでは次のことができます。

- サムネイルのグリッドとしてまたはリストとしてファイルを表示
- フォルダやファイルのソート順を選択

次の方法で表示オプションから選択できます。



表示アイコンをタップします



ナビゲーションバーのその他アイコン





ピンチ操作を使用するとグリッド表示とリスト表示が切り替わります。外方向へのピンチ操作でグリッド表示になり、内方向へのピンチ操作でリスト表示になります。

フォルダやファイルの選択

1. 詳細アイコンをタップします。



2. 選択をタップします。
3. フォルダやファイルをタップします。現在表示されているファイルをすべて選択するには、詳細アイコンをもう一度タップして、すべて選択を選択します。選択されたフォルダやファイルにチェックマークが表示されます。

現在選択されているすべてのフォルダやファイルの選択を解除するには、詳細アイコンをもう一度タップして、選択をクリアを選択します。

フォルダやファイルのコピー

1. コピーするフォルダやファイルを選択します。
2. コピーアイコンをタップします。ナビゲーションメニューがスライドして開きます。
3. コピー先のデバイスを選択します。
4. コピーされるデータのコピー先フォルダに進みます。
5. チェックマークのアイコンをタップしてコピーを確定するか、Xのアイコンをタップしてキャンセルします。

フォルダやファイルの移動

1. 移動するフォルダやファイルを選択します。
2. 移動アイコンをタップします。ナビゲーションメニューがスライドして開きます。
3. 移動先のデバイスを選択します。
4. 移動されるデータの移動先フォルダに進みます。
5. チェックマークのアイコンをタップして移動を確定するか、Xのアイコンをタップしてキャンセルします。


ファイルの共有

1. 共有するファイルを1つまたは複数選択します。
2. 共有アイコンをタップします。
3. 共有するアプリケーションを選択します。

ファイルの削除

1. 削除するフォルダやファイルを選択します。



画面下部のオプションアイコンをタップ  して、**削除**を選択します。



画面下部のごみ箱アイコンをタップします。

2. ダイアログボックスが表示されます。**削除**をタップして削除を確定するか、**キャンセル**をタップして中止します。

情報の表示

フォルダやファイルについて次の情報を表示できます。

- 名前 - フォルダやファイルの名前。
- 日付 - フォルダやファイルが作成された日付。
- 種類 - ドキュメントの種類。フォルダは FOLDER として表示されます。
- サイズ - ファイルのサイズ。(フォルダの場合は表示されません。)
- パス - ファイル システム内のファイルやフォルダの場所。

ファイルやフォルダの情報は次の方法で表示します。

1. フォルダまたはファイルの隣にあるオプションアイコンをタップします。



2. **情報**を選択します。
3. **完了**を選択します。

フォルダやファイルの名前の変更

1. 名前を変更するフォルダの隣にあるオプションアイコンをタップします。



2. **名前変更**を選択します。
3. ダイアログ ボックスが表示されます。仮想キーボードを使用して新しい名前を入力します。
4. **名前変更**を選択します。

画像の回転

画像を時計回りに 90 度回転させることができます。

1. 画像ファイルの隣にあるオプションアイコンをタップします。



2. **回転**を選択します。

ファイルを開く

ファイルをタップしてメディア ファイルを開きます。

Copilot BOSS では、モバイルプラットフォームで対応しているメディア ファイルの読み取りと再生ができます。メディア ファイルを読み取れない場合は、モバイル デバイスの別のアプリを使用するように Copilot BOSS でプロンプトが表示されます。または、Google Play ストアや Apple の App Store からアプリを選択してください。

モバイル デバイスを使用して簡単コピーを確定

Copilot BOSS は、DJI Copilot で起動された簡単コピーの確定に使用できます。

1. テザー ケーブルでモバイル デバイスを DJI Copilot に接続します。
2. アクション ボタンを押すと、接続されているモバイル デバイスが DJI Copilot でスキャンされます。(接続されたデバイスの検出には 20 秒から 30 秒近くかかる場合があります。)Copilot BOSS アプリが自動的に起動します。
3. SD カードを挿入するか、デバイス (ストレージ、ドローン、カメラなど) を DJI Copilot の USB ポートに接続します。
4. 簡単コピーの確定を求めるプロンプトが Copilot BOSS に表示されます。確定するには**はい**をタップします。キャンセルするには**いいえ**をタップします。



Copilot BOSS から、検出された SD カードや接続されているデバイスのそれぞれに対して、簡単コピーの通知が送信されます。簡単コピーを確定すると、カードまたはデバイスが簡単コピーのキューに追加されます。

Copilot BOSS の設定の表示

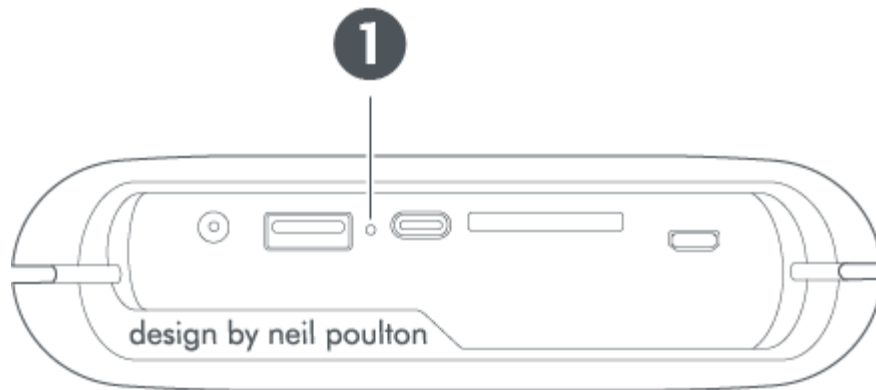
1. ナビゲーションアイコンをタップします。
2. **設定**をタップします。

名前変更	DJI Copilot の名前を変更します。
言語	Copilot BOSS の言語設定を選択します。
レターボックスの色	表示する画像やビデオの背面のレターボックスの背景色を選択します。
バージョン	ファームウェアのバージョンについての情報を表示します。利用可能な場合は新しいファームウェアをダウンロードします。

リセット	Copilot BOSS をデフォルト設定にリセットします。
切断	モバイル デバイスを DJI Copilot から切断します。
節電モード	DJI Copilot を節電モードにします。
バージョン情報	DJI Copilot の詳細、デバイス名、ストレージの総容量、未使用または使用済みのストレージ、バッテリーの充電、アプリのバージョン、シリアル番号、ファームウェアのバージョンを確認できます。
ヘルプ	ブラウザでオンライン ヘルプ ページを開きます。
問題の報告	サポート スタッフに電子メールを送信して問題を報告します。
バックアップ ログの有効化	すべての簡単コピーのログを表示します。
ログの送信	問題を報告するときに、ログ ファイルを電子メール メッセージに添付できます。
取り込み後のファイルやフォルダの検証	検証を有効化または無効化します。検証では、USB や SD カードからの完全コピーのファイルの整合性が確認されます。データの破損を制限できますが、検証によって、ファイルのコピーに必要な時間が増加します。
Copilot BOSS との接続時はスリープに移行しない	Copilot BOSS との接続時に DJI Copilot が節電モードに移行することを防止または許可します。
使用状況の統計情報の送信	DJI Copilot や Copilot BOSS の使用体験を改善させるために、Copilot BOSS が定期的に匿名で使用状況の統計情報を送信することを許可します。

DJI Copilot の再起動

DJI Copilot はいつでも使用できるように設計されています。ただし、DJI Copilot を再起動する必要がある場合は、次の手順に従います。



1. 再起動用ピンホール

1. USB ポートと USB-C ポートの間にある再起動用のピンホールを探します。
2. (ペーパークリップの先端のような) 細くて固い針金をピンホールに差し込みます。密閉されたスペースの中にあるボタンが押されるまで差し込んでください。
3. 針金を取り出して、DJI Copilot の再起動が完了するまで待ちます。

安全に関するガイドライン

電源

デバイスに同梱されている電源ケーブルのみを使用してください。他の DJI、LaCie、サードパーティのデバイス用の電源ケーブルを使用すると DJI Copilot が故障する可能性があります。

バッテリーに関する安全上の注意

この製品にはリチウムイオン電池が含まれており、適切に廃棄する必要があります。適切なりサイクル・処分方法については、[このリンク](#)を参照してください。

バッテリーを安全にお使いいただくために、以下の注意に従ってください。

- 蓄電池やバッテリーの分解や改造をしないでください。
- 蓄電池やバッテリーを加熱したり、火中に投入しないでください。直射日光の当たる場所での保管は避けてください。
- 蓄電池やバッテリーをショートさせないでください。蓄電池やバッテリーが互いにショートを起こしたり、他の物と触れてショートを起こさないように、箱や引き出しに無造作に保管しないでください。
- 電源ポートを使用してデバイスを充電するときは、デバイスに同梱されている電源のみを使用してください。
- 本機器での使用を意図して設計されている蓄電池やバッテリー以外を使用しないでください。
- 同一機器でメーカーや容量、サイズ、種類の異なる蓄電池を混合して使用しないでください。
- 蓄電池やバッテリーを誤飲した場合は、直ちに医療機関に相談してください。
- 蓄電池やバッテリーに衝撃を与えないでください。
- 蓄電池が液漏れを起こしている場合は、液体が肌に付いたり眼に入らないよう気をつけてください。肌に付いたり目に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し医療機関に相談してください。
- 蓄電池やバッテリーは子供の手の届かないところに保管してください。
- 蓄電池やバッテリーは清潔で乾燥した状態に保つようにしてください。
- 蓄電池やバッテリーは使用前に充電する必要があります。このデバイスを充電する方法については、[セットアップ](#)をご覧ください。
- バッテリーを使用しない場合でも、充電器に付けたままにしないでください。
- 長期間保管していた場合は、蓄電池やバッテリーの最大の性能を引き出すために充電と放電を数回繰り返す必要がある場合があります。
- 蓄電池やバッテリーが最大の性能を発揮するのは、室温 (20°C+5 °C) での操作です。
- 製品パンフレットは今後の参考のため保管しておいてください。
- 蓄電池やバッテリーは、意図された適用範囲でのみ使用してください。
- このデバイスやバッテリーはお住まいの場所、地域、国で適用されている廃棄に関する法律に従って廃棄してください。

DJI Copilot はオフィスでの使用を意図したものではありません。

